株式会社佐藤渡辺

株主の皆様へ

第95期中間株主通信

2025年4月1日から2025年9月30日まで

工事名:令和5年度青海埠頭ヤード改修工事(第1期)
撮影箇所:東京都江東区

証券コード 1807

ごあいさつ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第95期中間株主通信（2025年４月１日から2025年９月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

代表取締役社長
鎌田修治

当上半期におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が緩やかに回復しており、今後も増勢を維持することが見込まれます。また、人手不足に対応した省力化投資やデジタル化投資などに対する需要を背景に、設備投資は堅調に推移しております。一方で、日米間の関税交渉合意後の影響が顕在化し、米国の関税引き上げによる企業収益の弱含みが見られるなど、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

道路建設業界におきましては、政府による国土強靭化の推進や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進展しており、ライフラインの強靱化や地域の防災力強化を目的とした公共投資は、今後も堅調に推移することが期待されます。一方で、民間設備投資では、金利上昇や資材価格の高騰により、一部で慎重な動きが見られました。

このような状況の中、受注高は、2025年３月25日付で国土交通省関東地方整備局から建設業法第28条第３項の規定に基づく営業停止処分（2025年４月９日から2025年８月６日までの120日間）を受けた影響により、前年同期を大きく下回りました。また、売上高は、前期からの繰越工事を中心に進捗を図りましたが、一部大型工事の進捗が遅れたことにより、前年同期を下回りました。一方で、売上総利益は、採算性の改善などにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、当上半期の経営成績につきましては、受注高は127億４千７百万円（前年同期比26.3％減）、売上高は151億５千９百万円（前年同期比6.0％減）、営業損失は１億３千９百万円（前年同期は営業損失３億４千２百万円）、経常利益は３千３百万円（前年同期は経常損失２億６千２百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は２千１百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失２億５千万円）となりました。

当社グループは、“変革と学習文化の醸成および持続可能性への取り組み”をテーマとした「佐藤渡辺グループ中期経営計画（2024～2026年度）」を策定し、①収益力の向上、②資本・財務戦略の強化、③ＥＳＧ経営の推進の３つの基本方針を掲げて、グループ一丸となって取り組んでおります。100年企業としての誇りと伝統を継承しつつ、変化に対応する柔軟性と学習意欲を持つ組織文化の醸成を目指してまいります。

また、効率的な施工体制の構築や技術革新を通じて競争力を強化するとともに、コーポレートガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底を通じて公正な事業活動を実現する内部統制システムを構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

■企業集団の当上半期の受注高・売上高・繰越高

（単位:百万円）

区　分		前期繰越高	当上半期受注高	当上半期売上高	当下半期繰越高
工事部門	舗装	14,281	8,255	10,291	12,244
	土木等	2,638	2,188	2,564	2,262
	計	16,920	10,443	12,855	14,507
製品等販売部門		—	2,303	2,303	—
合　計		16,920	12,747	15,159	14,507

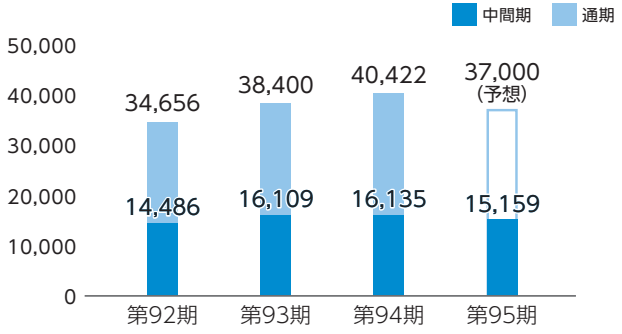
連結業績ハイライト

第95期中間期（2025年４月１日～2025年９月30日）

売上高	営業損失	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
151億59百万円 （前年同期161億35百万円）	△1億39百万円 （前年同期3億42百万円の損失）	33百万円 （前年同期2億62百万円の損失）	21百万円 （前年同期2億50百万円の損失）

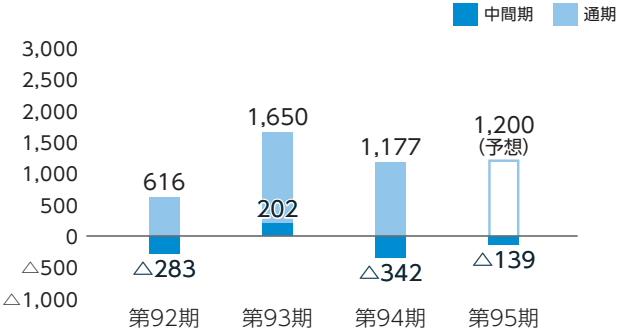
売上高

単位:百万円



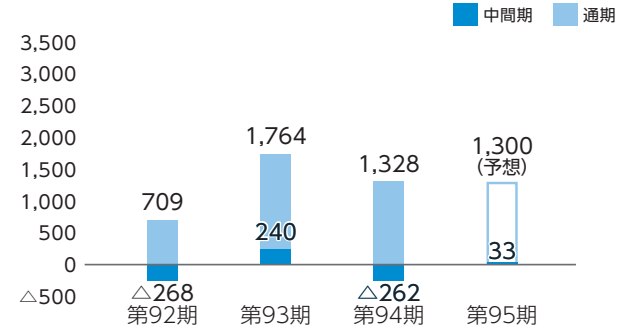
営業利益（△損失）

単位:百万円



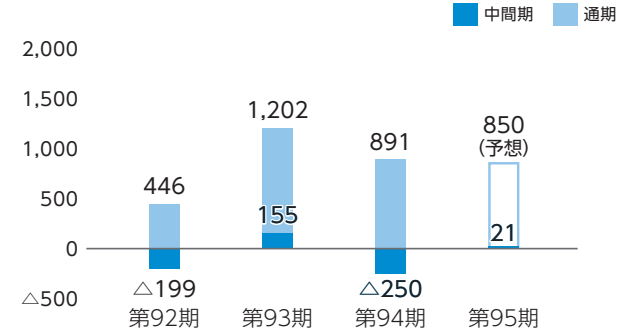
経常利益（△損失）

単位:百万円



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益（△損失）

単位:百万円



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

会社の概要

（2025年9月30日現在）

会社名	株式会社佐藤渡辺
所在地	〒106−8567 東京都港区南麻布一丁目18番4号 TEL 03−3453−7351（代表）
創業年月日	1923年12月20日
主な事業内容	主に舗装工事、土木工事等の請負並びにこれらに関連する事業を行うほか、アスファルト合材等の製品の製造、販売等の事業活動を展開しております。
資本金	1,751,500,000円
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式総数	6,244,557株 （自己株式　146,843株を除く）
株主数	1,600名
従業員数	479名

支店

東北支店（宮城県仙台市）、関東支店（東京都港区）
施設工事支店（東京都港区）、中部支店（愛知県名古屋市）
北陸支店（富山県富山市）、近畿支店（兵庫県三田市）
中国支店（広島県広島市）、四国支店（香川県高松市）
九州支店（福岡県糟屋郡新宮町）

役員

（2025年9月30日現在）

代表取締役社長	社長執行役員	鎌田修治
代表取締役	専務執行役員	金井義治
取締役	常務執行役員	大山龍美
取締役	常務執行役員	橋本秀浩
社外取締役		古川裕二
社外取締役		岡田英理香
常勤監査役		木地本寛之
社外監査役		石原祥子
社外監査役		久保義人

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同事務連絡先	みずほ信託銀行　証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル　0120-288-324 （土・日・祝日を除く9:00～17:00）
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1−1 フリーダイヤル　0120−232−711 〔受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）〕 （郵送先）〒137−8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://watanabesato.co.jp/ （ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 証券会社に口座をお持ちの場合の株式に関する各種お手続きにつきましては、お取引の証券会社にお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
   なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株式会社佐藤渡辺

［ホームページ］
https://watanabesato.co.jp/

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。